
身体に力が...

聖魔光闇

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

身体に力が…

【Nコード】

N23210

【作者名】

聖魔光闇

【あらすじ】

身体に力が入らない。頭は正常のはずなのに…。

(前書き)

想像しながら見て下さい。きっと恐ろしい体験でしょうから。

「うううおおおおお！！」と大声を出しうつぶせの身体を持ち上げようとする。頭は、しっかりしているつもりだが、身体に力が入らない。

もう一度「ううううおおおお！！！！」と両腕に力を入れる。少し上半身が浮き上がったと思った途端、右顔面から床に激突した。

心に病を患って、しばらく経った時だった。身体が思うように動かなくなった。頭では『あーして』『こーして』と考えるのだが、身体がついてこない。そんなある時、それはやって来た。

顔面を真っ赤に染め、力いっぱい身体を持ち上げようとするも、持ち上がらない。何度も何度も行うが、身体が動かない。

家族が心配そうに見守り、「大丈夫？」と声をかけてくる。「……大丈夫……夫……」とかすれた声で返事し、身体を持ち上げようと努力する。

四つん這いになった時には、全身汗だくだった。

「はぁ！はぁ！はぁ！」と激しい運動の後のように息を切らし、立ち上がるうとして、手の力を抜いた瞬間だった。

『ガンッ』と音と共に前のめりに倒れ込んだのだった。

『俺の………身………体あ……！！！！どうなってやがるう……！！』

『. . . 』

(後書き)

いろいろのってあるんですけどしょつか？

あったら恐いですよねえ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2321o/>

身体に力が...

2010年10月10日18時01分発行